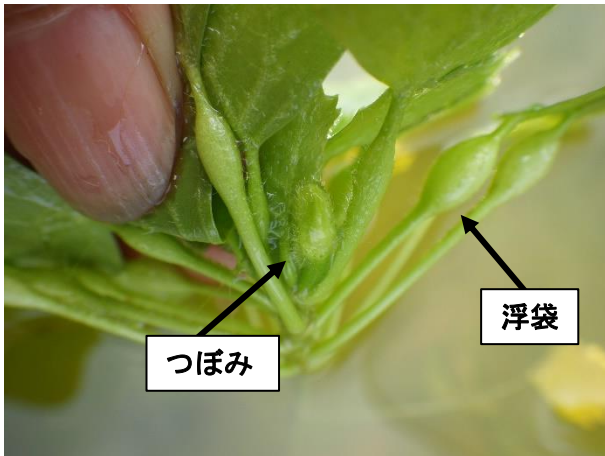


植物多様性センターの「ヒシの変身」

水草のヒシはヒシ科の1年草です。忍者の「撒菱(まきびし)」でおなじみの大きな刺の生えた果実をつけます。花は、果実のコワモチな形からは想像できないくらい、小ぶりで清楚です。朝に開く花は一日花で昼過ぎには萎み、刺のもととなる2枚のガクが一気に成長します。秋に熟す大きな種子は水底で冬を越して、暖かくなると発芽します。長い茎を伸長させて葉を展開し、水面に達するとロゼットを形成して、また花を咲かせます。



葉の中心につぼみ、葉柄には紡錘形の浮袋がついている



ひし形の葉の中央から直径1cmほどの4弁花を咲かせる



花後、両端のとがった形に内側の2枚のガクが肥大を始める



熟し始めた果実、秋には両端に大きな刺のある果実が熟す